



東京大学（駒場Ⅱ）オープンラボラトリー
が完成しました。

交流広場よりエントランスを見る



東側外観



エントランスホール

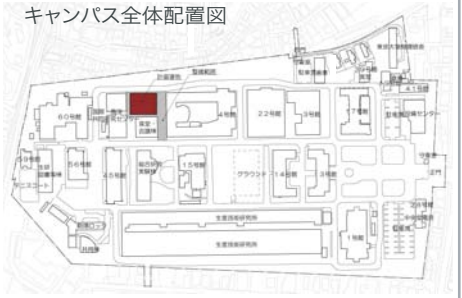


交流プラザ

CONCEPT

国立大学法人PFI事業による 研究施設

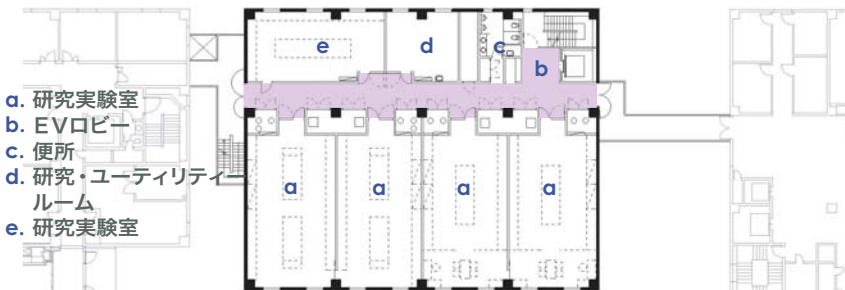
オープンラボラトリーは、ナノテク・材料系研究室、生物系研究室、情報系研究室を含む研究施設として、東京大学の駒場リサーチキャンパス内に建設されました。東京大学の共同教育研究施設として1998年に設立された、駒場オープンラボラトリー初の専用施設となります。建設後、大学に所有権を移転し、約15年間の維持管理業務を進行するBTO方式。国立大学法人PFI事業の先導モデルを目指しています。



DATA

敷地面積	97,019.27㎡
建築面積	685.74㎡
延床面積	4,049.24㎡
建ぺい率	32.93% (許容 60.39%)
容積率	121.76% (許容201.97%)
構造・規模	SRC造、地上7階
最高高さ	27.50m
軒高	27.20m
階高	1階3.55m、2階3.65m、 基準階4.00m
天井高さ	基準階2.70m
主なスパン	7.0m×14.0m
設計期間	2003.04~2004.03
工事期間	2004.04~2005.03

PLAN



- a. 研究実験室
- b. EVロビー
- c. 便所
- d. 研究・ユーティリティルーム
- e. 研究実験室

4F PLAN S=1:600



- a. エントランスホール
- b. 交流プラザ
- c. 事務・管理室
- d. 研究実験室
- e. EVロビー
- f. 便所
- g. 電気室
- h. 機械室
- i. ゴミ置場

1F PLAN S=1:600

TOPICS 1

当社初のPFI事業参画
新日本製鐵グループ(新日本製鐵・鉄建建設・日本電設工業)のコンソーシアムに参加し、平成15年8月8日に東京大学(駒場Ⅱ)駒場オープンラボラトリー施設整備事業の設計監理業務を受注しました。

TOPICS 2

岩井俊雄氏による
定礎デザイン



東京大学先端科学技術研究センター特任教授、またTV番組ウゴウゴルーガのCGキャラクターをデザインした事で知られるメディアアーティスト岩井俊雄氏によって定礎がデザインされました。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>